

第13回 (仮称) 岩槻人形会館開設準備委員会 会議録 (要旨)

日 時 平成27年11月16日(月) 午後2時30分～午後4時30分

場 所 大宮区役所3階 特別会議室

委員出欠 (敬称略)

出席委員：6名

林 宏一 (元東京家政大学 教授) / 分野：美術史

是澤 博昭 (大妻女子大学 准教授) / 分野：人形文化史

大越 久子 (埼玉県立近代美術館 学芸主幹) / 分野：美術史

加藤 三郎 (NPO法人岩槻まちづくり市民協議会 相談役) / 分野：市民団体

伴戸 武三 (岩槻人形協同組合 専務理事) / 分野：人形

中井 達雄 (さいたま市 岩槻区長) / 分野：行政

欠席委員：2名

村上 和夫 (立教大学大学院 教授) / 分野：観光学

田島 夏与 (立教大学 准教授) / 分野：都市経済学

事務局 (敬称略)

藤澤 英之 (スポーツ文化局 文化部 部長)

大塚 浩昭 (スポーツ文化局 文化部 文化振興課文化施設建設準備室 室長)

五月女 正人 (スポーツ文化局 文化部 大宮盆栽美術館 参与)

川田 泰則 (スポーツ文化局 文化部 文化振興課文化施設建設準備室 主幹)

高野 智之 (スポーツ文化局 文化部 文化振興課文化施設建設準備室 主査)

菅原 千華 (スポーツ文化局 文化部 文化振興課文化施設建設準備室 主任 学芸員)

平井 美江 (スポーツ文化局 文化部 文化振興課文化施設建設準備室 主任 学芸員)

次 第 1 開 会

2 委嘱状の交付

3 あいさつ

4 委員紹介

5 委員長の選出

6 議 事

7 その他

8 閉 会

配付資料

次第

資料1

(仮称) 岩槻人形会館の計画変更について

資料2

資料調査等について

資料3

支援組織づくりについて

参考資料

(仮称) 岩槻人形会館開設準備委員会設置要綱
委員名簿

1 開 会 (司会:事務局/五月女参与)

2 委嘱状の交付 (交付:藤澤部長)

3 あいさつ (藤澤部長)

4 委員紹介 (司会)

5 委員長の選出 (委員会)

委員の互選により、以下のとおりとなった。

委員長：林委員

委員長の指名により、以下のとおりとなった。

副委員長：是澤委員

7 議 事 (委員会)

この会議は、

- ・「さいたま市附属機関等に関する要綱」第7条の規定により公開であること。
- ・公開の方法は、「さいたま市附属機関等の会議の公開に関する要綱」第5条第1項の規定により会議の傍聴を希望する者に、この会議の傍聴を認めること。
- ・この会議の議事録作成のために、録音すること。
- ・議事録については、各委員による確認を経た後、公開する旨、了承された。

【議事内容】

委員長：それでは、ただいまから、第13回（仮称）岩槻人形会館開設準備委員会を開会します。

事務局は、傍聴者の案内をお願いします。

事務局：本日の委員会の傍聴につきましては、一般傍聴者、報道関係者共にゼロでございます。

委員長：それでは、本日の次第に沿って議事を進めて参ります。

(1) 報告「（仮称）岩槻人形会館の計画変更について」事務局より報告をお願いします。

事務局：資料1（仮称）岩槻人形会館の計画変更について

→資料1を提示し（仮称）岩槻人形会館の計画変更の内容及び経緯を説明。

委員長：先日11月6日に、市長にお会いしたときに

- ① 館が博物館との位置づけなので、名称を改める必要があること。
- ② 現組織では、人員が不足していること。
- ③ 展示資料の充実

をお願いしたところです。

委員の皆様から、ご意見はありますか。

中井委員：当施設の開館は2020年開館予定となっています。

2020年にはオリンピック、パラリンピックが東京で開催されることから海外からの観光客が当施設を訪れることが想定されますが、多言語サイン・周辺標識の計画について、関連各課との協議や費用はどう考えていますか。

事務局：既存の計画をベースに、関連各課との調整を図って行ければと考えています。
また、少なくとも当施設に来られる方々に不便の無いように整備できればと考えています。

費用面については、既存の物も利用する方向で考えて行ければと思います。

委員長：スケジュールを詰めて行く中で、一つ一つ課題を解決しなくてはならないと思います。

大越委員：用地拡充について、具体的にはどのようなイメージになるのですか。

事務局：現段階で、旧区役所敷地には、「まちの魅力向上」、「にぎわいの創出」という観点から、展示・収蔵機能を。また、既存の建設予定地は、自然環境に恵まれていて、歴史的な場所でもあるので、教育・普及的な機能（講座・ワークショップ）を想定しています。

ただ、当館は、2020年完成を目指していることもあるので、本体となる、旧区役所敷地の展示・収蔵機能を優先的に整備する予定です。

このことから、既存の建設予定地の整備は、若干遅れることが想定されます。

委員長：建設用地についてはいろいろな経緯がありましたが、本体機能を区役所跡地に移し、既存の建設予定地は適切に活用を図るということで、ご理解いただけますか。

大越委員：美術館の担当委員としては、館の機能を分離することで、運営等に影響しないか懸念しています。

委員長：これは、これからの課題と捉えています。

今後、我々で、できる面はサポートして行ければと思います。

伴戸委員：当施設の名称変更についてのスケジュールはどうなっていますか？

事務局：まずは、新年度から予算における事務事業名を「会館」から「博物館」という名称変更ができればと考えています。ただ今後、議会での予算審議を経て行くことになるため、あくまでも予定です。

委員長：速やかに名称変更することをお願いします。

予算要求の名称だけでも先にできないかと思います。

財政担当と協議して、可能であれば改名していただきたいと思います。

副委員長：名称が「会館」と「博物館」では、周りの受け取り方や進め方も変わってくるので、名称変更で、ソフト面でも動きやすくなるのではないかと思います。何をやる館なのかを明確にして行くうえでも、一刻も早い名称変更をお願いします。

加藤委員：行政の間では、「会館」という言い方で来ているので、館の性格は博物館にもかかわらず、公の場では「会館」という言い方をせざるを得ない状況です。ただ、非公式に市民の間では「博物館」という言い方をして、(仮称)岩槻人形会館は「博物館」であるということを地元の皆様に伝えていきます。

委員長：館の名称については、「(仮称)岩槻人形会館」から「(仮称)岩槻人形博物館」に変更する等の適切な対応をお願いします。

他にご意見はありますか。

無いようですので、次に行きたいと思います。

委員長：(2) 議題「ア 資料調査等について」事務局より報告をお願いします。

事務局：資料2 資料調査等について

→資料2を提示し資料調査等の内容及び状況を説明。

委員長：人形文化史の分野からは澤副委員長より、ご意見をうかがえますか。

副委員長：最近の展示会はコアなものが多く、大きな美術館でも人形をテーマに絞った展示会が増えてきており、人形文化の裾野が広がりつつあります。

この館ができたなら、日本で唯一、公立の人形博物館となるので、当館が人形博物館の基準となります。今以上に、慎重な調査、所蔵品の充実をお願いしたいと思います。

委員長：より一層の心構えで、資料調査、収集をお願いします。

館がオープンした際に、展示にふさわしいものが、現時点でどれくらいありますか。

事務局：浮世絵等はそれで一回分の企画展ができることを想定して、まとまりを考えて収集しています。

特に、日本の人形文化や岩槻に人形が伝わってくる背景を語るために必要な、古典籍を中心に収集を進めています。人形についてはアドバイザー等のアドバイスを得ながら、単体で展示できるグレードの物も収集して行きたいと思っています。

委員長：寄贈資料等ありますか。

事務局：寄贈のお声掛けも増えてきています。内容は、グレードの高いものからそうでないものまであります。グレードが高くないものについては、寄贈ではなく、引取りとしています。これらについては、教育・普及の教材的なものとして活用したいと考えています。

委員長：現状の資料だけでは、常設展での展示でも苦しくなっていくと思います。

今後一層、収集に力を入れていただきたいと思っています。

大越委員：データベースについては、これから難航すると思います。

学芸員2名、臨時職員1名の体制ではとても作れるようなものでないので、早めの人員確保、予算取りを行う必要があると思います。

また、データベースに、どのような情報を入れて行くのかのパートナー作りも重要になってきますが、その点はどう考えていますか。

事務局：ご指摘のとおり、仮調査段階の情報に肉付けをして、写真を入力してリストを作成している状態です。今後、「分類をどうするのか」、「資料名称をどうするのか」等、十分に検討して行く必要がありますし、それぞれの資料の受入についての情報、管理のための情報、修復作業もしていますので、メンテナンス状況等、すべてを集約して、各情報をすぐ取り出せる「収蔵品の台帳シ

システム」を構築しなくてはならないと考えています。

委員 長：開館したら、来館利用者にスムーズに情報を提供できるようにしなければならないので、早めに対応することが必要と考えます。

副委員長：課題が山積しており、今の体制では困難であると考えています。

博物館という性格上、人員を補強して、より一層の資料の調査・収集をお願いします。

委員 長：今後、支援組織づくりも控えているので、準備室が実践的な機能を持って事業に臨めるよう、対応いただけるよう希望します。

伴戸委員：岩槻人形協同組合からも積極的に提案をしてよいかを考えているところです。今後の収集のスタンスや予算はどう考えていますか。

事務局：昨年は約200万、今年度は400万、来年度以降も予算の増額を考えていますが、大幅な増額は、市の財政上、厳しい状況にあります。

今後、資料の充実のため、予算確保に努めるとともに、博物館にとって、核となるものは何か、コンセプトを念頭におき、重要なものから優先的に収集して行きたいと考えています。

また、岩槻人形協同組合からのご提案についても、館に必要なものであれば交渉の対象にしたいと考えています。

委員 長：他にご意見はありますか。

無いようですので、次に行きたいと思えます。

委員 長：(2) 議題「イ 支援組織づくりについて」事務局より報告をお願いします。

事務局：資料3 支援組織づくりについて

→資料3を提示し支援組織づくりの活動内容及び状況を説明。

また、村上委員のご意見をいただき資料3の資料を作成した旨も報告。

委員 長：支援組織づくりについて説明していただきました。

支援組織づくりに、ご尽力いただいている加藤委員からお願いします。

加藤委員：まずは、様々な方々から、ご支援・ご協力頂きありがとうございます。

観光まちづくりを行っているところですが、最近、シャッター街が、広がる一方です。

全国に「小京都」を名乗っているのが53、「雛めぐり」はネットで検索しただけでも73あります。他と差別化をしないと、お客様が岩槻においで頂けないと思っています。

岩槻人形博物館は地域の活性化の起爆剤であり、開館後はキーステーションとしての役割を担うものと考えています。

また、ボランティア団体は、ほとんどが分野ごとの縦割りです。

これを横に繋げないと地域力が出ないと考えています。

また、人形文化をブランディングしていくと切り口は違うが、揃ってくると考えています。

先程、差別化と申し上げましたが、節句文化をもう一度見直そうということで「重陽の節句」を開催しました。

人形団体、商店会、ボランティアを一体で進めるため、同時開催した創作人形フェスティバルで、創作人形を飾る場を人形店の一面に設けて、人形を買う目的の方以外も入りやすくすることで、多くの人に店に来ていただける仕組みを作りました。

店に、来て頂いた方々にもお茶とかのおもてなしを交えて交流を図ることで、再び訪れる方も増えてきました。

フィギュア、玩具、ゆるキャラも人形であるので、人形の間口を広げて、若い方にも来てもらわなくては活気が出ないと考えています。

また、平成 25～27 年にかけて、岩槻学検定の中の講座で、学芸員や人形組合の方々を講師に招いて、人形文化に絞った講義をしてもらい、人形文化を語る人材育成に努めました。

商店会からは、菊の入ったおもてなし料理の創作のほか、地元和菓子店の協力で、菊の入った創作和菓子教室を子供向けに行いました。

これらのことで、人形団体、商店会、ボランティアの一体感が生まれ融和が図られたのではないかと思います。

さらに、来年は国際公募による創作人形とトリエンナーレのコラボ企画を立ち上げ、中から盛り上がる活動を行っているところです。

委員長：支援組織づくりにご尽力いただき、さらにNPO設立までに漕ぎ着けた加藤委員には改めて、敬意を表したいと思います。

加藤委員：人形関連のちらしを 32,000 戸に単独ポスティングしました。

委員長：広報活動をして頂いているということで、非常に効果があると思います。

伴戸委員：岩槻人形協同組合が行うといろいろと誤解が生じる部分もありますので、助かっており、加藤委員には感謝しているところです。

加藤委員：行政及び岩槻人形協同組合のご支援があるからこそ、活動ができています。

中井委員：岩槻区には 43 の市民活動団体があり、加藤さんにおかれましては横の連携を広げるべく、人形に限らず様々な活動にご尽力いただいているところです。また、人形博物館は、岩槻人形協同組合のためではないということを一般の方々にもご理解いただければと思っています。

人形博物館は、さいたま市の博物館という認識をもって PR して行ければと考えています。

委員長：横の連携の中で、地域、さいたま市、県、関東、国、海外へと広げられればと考えており、もっと充実したものにして行ければと思っています。

他にご意見はありますか。

それでは議事の方は終わらせていただきます。

委員長：その他、事務局からどうぞ

事務局：長時間にわたりまして、熱心なご議論、また、貴重なご意見をありがとうございました。

次回の開催につきましては、今後のスケジュール、資料調査の進捗状況等を議題といたしまして、3月頃の開催を予定したいと考えています。

具体的な日程等が決まりましたら、改めてご連絡します。

委員長：それでは、これで、終了します。

8 閉 会 (司会)